

## <ニュースレター>

2013年9月27日

### ニュー スキン ジャパン 株式会社

## 産経デジタル主催「エイジング サイエンス シンポジウム」に ニュー スキン エンタープライズの科学者2名が参加

ニュー スキン ジャパン 株式会社（本社所在地：東京都新宿区、代表取締役社長：ライアン ナピアスキー）は、9月11日（水）大阪、9月13日（金）東京 開催の産経デジタル主催／産経新聞社後援「エイジング サイエンス シンポジウム」に、親会社であるニュー スキン エンタープライズの科学者2名が参加したことをお知らせします。

このシンポジウムは、「なぜ、人は太るのか？ 最先端の遺伝子科学がひも解く、肥満のメカニズムと進化したウェイト マネジメント」をテーマに、遺伝子や自律神経研究、肥満治療や栄養学における第一人者による最新の研究結果や、日常生活に取り入れられるウェイト マネジメントの実践法などを、広く一般の方々に理解してもらうことを目的に開催されました。

シンポジウムは二部構成になっており、第一部では3名の専門家による基調講演、第二部では「人はなぜ太るのか？」をテーマとしたパネル ディスカッションが行われました。

第一部の基調講演者には、ニュー スキン エイジング ケア アドバイザリーボード メンバーであり、エイジングに関わる遺伝子解明を専門とするゲノミクス企業、ライフジェン テクノロジーズ社の創業者でもあるリチャード ウェインドルック博士が登壇。カロリー制限が脂肪細胞に対して、代謝の活性化や炎症作用の抑制といった変化を引き起こすことを、最新の研究を踏まえて明らかにしました。

第二部のパネル ディスカッションでは、ニュー スキン エンタープライズ社で扱うパーソナルケア製品と、栄養補助食品の研究・開発に携わる最高科学責任者であるジョセフ チャン博士が、パネリストとして登壇しました。栄養補助食品に関する包括的な知識をもつ博士は、「遺伝子の発現状態」が太りにくい体質になるための鍵であることや、筋肉を維持しつつ脂肪を減らすことの重要性について説明しました。

会場には、東京・大阪合わせて2,200人を超える参加者が集まり、スピーカーの話に熱心に耳を傾けていました。

シンポジウムの詳細や当日の様子は、次頁をご参照ください。

■シンポジウム概要■

イベント名	「エイジング サイエンス シンポジウム」 なぜ人は太るのか？ ～最先端の遺伝子科学がひも解く、肥満のメカニズムと進化したウェイト マネジメント～
主催 / 後援	主催：産経デジタル / 後援：産経新聞社
日時 / 会場	大阪：9月11日（水）サンケイホールブリーゼ 東京：9月13日（金）東京国際フォーラム ホールB7
プログラム	<p><b>18：30～20：00 第一部：基調講演</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ <b>吉田 俊秀 先生</b>（島原病院肥満・糖尿病センター長 / 京都府立医科大学客員教授） テーマ：「肥満治療成功の秘訣：肥満の原因は遺伝因子か環境因子か？」</li> <li>・ <b>リチャード ウェインドルック 博士</b>（ウィスコンシン大学教授 / ライフジェン テクノロジーズ社 共同創業者） テーマ：「遺伝子の発現が紐解く肥満」</li> <li>・ <b>エリカ アンギャル 氏</b>（栄養コンサルタント） テーマ：「世界が目にする“日本人女性の美の秘密”」</li> </ul> <p><b>20：10～21：00 第二部：パネル ディスカッション</b></p> <p>パネリスト：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ <b>エリカ アンギャル 氏</b>（栄養コンサルタント）</li> <li>・ <b>小林 弘幸 先生</b>（順天堂大学、医学部教授）</li> <li>・ <b>ジョセフ チャン 博士</b>（ニュー スキン エンタープライズ 最高科学責任者）</li> </ul>
コーディネーター	<b>田村 あゆち 氏</b> （フリーアナウンサー）

■当日の様相■



(第一部 基調講演 リチャード ウェインドルック博士)



(第二部 パネル ディスカッション)